

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社城南進学研究社 上場取引所 東
 コード番号 4720 URL <https://www.johnan.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 下村 勝己
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役執行役員CFO (氏名) 杉山 幸広 (TEL) 044-246-1951
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期第1四半期 | 1,319 | 0.7 | △157 | — | △153 | — | △162 | — |
| 2023年3月期第1四半期 | 1,310 | △5.4 | △205 | — | △204 | — | △218 | — |

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 △152百万円(—%) 2023年3月期第1四半期 △217百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期第1四半期 | △20.28 | — |
| 2023年3月期第1四半期 | △27.98 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年3月期第1四半期 | 4,857 | 1,833 | 37.7 |
| 2023年3月期 | 5,146 | 2,027 | 39.4 |

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 1,832百万円 2023年3月期 2,026百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期 | — | 0.00 | — | 5.00 | 5.00 |
| 2024年3月期 | — | — | — | — | — |
| 2024年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 5.00 | 5.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業収益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-------|-----|------|-------|------|-------|-----------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 3,139 | 2.4 | 29 | 492.1 | 34 | 149.2 | 10 | — | 1.26 |
| 通期 | 6,245 | 5.0 | 169 | — | 174 | — | 106 | — | 13.21 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

| | | | |
|------------|------------|----------|------------|
| 2024年3月期1Q | 8,937,840株 | 2023年3月期 | 8,937,840株 |
|------------|------------|----------|------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|------------|----------|----------|----------|
| 2024年3月期1Q | 906,307株 | 2023年3月期 | 906,307株 |
|------------|----------|----------|----------|

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

| | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 2024年3月期1Q | 8,031,533株 | 2023年3月期1Q | 7,811,533株 |
|------------|------------|------------|------------|

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、ウィズコロナ下で各種政策の効果もあり、社会活動の正常化や人流の増加、雇用・所得環境の改善等、内需を中心に緩やかに回復しております。一方、欧米を中心とした世界的な金融引き締め等による景気の下振れリスク、物価上昇や金融資本市場の変動に対する懸念等、先行きに対し不透明感のある状況が続いております。

当業界におきましては、2022年の日本の出生数が初めて80万人を割り込むなど少子化が急速に進行している中、小学校高学年を対象としたプログラミングや英語の必修化、大学入試における総合型・学校推薦型選抜の増加、学校における教員の働き方改革を背景とした民間委託の検討等、学校教育や受験の在り方など取り巻く環境が激しく変化しており、顧客のニーズも多様化しております。さらに、人件費の上昇や人材の確保も課題となっており、新たなサービスの開発や業務のDX化など変革が求められております。

このような状況の中、当社は、2022年に会社設立40周年を迎えました。この40周年を迎えたことを機に当社グループは、新たに経営循環モデル「JOHNAN SUCCESS LOOP」を策定し、「総合教育ソリューション企業として、たくましい知性、しなやかな感性を育む能力開発のLeading Companyとなります」という企業VISIONを達成するために、企業理念である「学びをアップデートせよ」、経営理念の「生徒第一主義の実践」をベースに総合教育ソリューション事業を積極的に展開してまいりました。

当第1四半期連結累計期間においては、中期経営計画基本戦略のひとつに掲げた“付加価値の高い幼少教育事業の確立”を促進するため、4月に乳幼児教育ブランドの相互展開等を目的とし株式会社明光ネットワークジャパンと、6月には算数オリンピックメダリストを多数輩出する株式会社りんご塾とそれぞれ業務提携契約を締結し、新たな顧客の獲得や商品の開発に向け取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,319百万円（前年同四半期比0.7%増）、営業損失は157百万円（前年同四半期の営業損失は205百万円）、経常損失は153百万円（前年同四半期の経常損失は204百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は162百万円（前年同四半期の親会社株主に帰属する四半期純損失は218百万円）となりました。

a. 教育事業

幼少教育部門では、算数教室「りんご塾」、保育園を運営している子会社である株式会社城南ナーサリー及び株式会社城南フェアリーの売上高増加、児童英語教室「ズー・フォニックス・アカデミー」での安定した売上確保により前年同期を上回る売上高となりました。また、子会社である株式会社城南ナーサリーでは、6月に児童発達支援教室「フォレストキッズ」の第1号教室をJR川崎駅西口にオープンし、順調なスタートとなっております。映像授業部門（映像授業教室「河合塾マナビス」）では受講単価の上昇により、前年同期を上回る売上となりました。

一方、個別指導部門（個別指導塾「城南コベッツ」）では、大学入試における総合型・学校推薦型選抜の増加による、高校生の減少に伴う単価の減少などが売上を押し下げており、前年同期を下回る売上高となりました。

デジタル教材・ソリューション部門では、高校等への講師派遣事業、オンライン学習教材「デキタス」の自治体・学童保育・スポーツクラブ等への提供等において継続受注・新規受注があったものの、第2四半期連結会計期間以降の売上となるものが多く、前年同期を下回る売上高となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は1,229百万円（前年同四半期比0.7%増）となりました。

b. スポーツ事業

子会社である株式会社久ヶ原スポーツクラブでは、新型コロナウイルス感染症により屋内施設での運動が避けられる傾向にありましたが、5月に感染症法上の位置づけが5類へ移行したこと等により新規会員の獲得が好調となっております。また、学習施設や学童施設も併設しており、当社グループのオンライン学習教材「デキタス」やプログラミング教室の利用を促進するなど、運動と勉強を掛け合わせたサービスの提供により他スポーツクラブとの差別化を図っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は91百万円（前年同四半期比0.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、4,857百万円となり、前連結会計年度末に比べ288百万円減少いたしました。これは主に有価証券が49百万円、前払費用が10百万円増加した一方、現金及び預金が273百万円、投資有価証券が37百万円、敷金及び保証金が20百万円減少したことなどによるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、3,023百万円となり、前連結会計年度末に比べ95百万円減少いたしました。これは主に契約負債が25百万円増加した一方、長期借入金(1年内返済予定含む)が81百万円、未払法人税等が35百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、1,833百万円となり、前連結会計年度末に比べ193百万円減少いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が10百万円増加した一方、利益剰余金が204百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては本資料発表日現在において、2023年5月19日に発表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,584,381 | 1,311,081 |
| 売掛金 | 161,177 | 154,653 |
| 有価証券 | 7,776 | 57,014 |
| 商品 | 36,936 | 29,653 |
| 貯蔵品 | 7,784 | 6,556 |
| 前払費用 | 279,258 | 290,091 |
| その他 | 35,904 | 51,704 |
| 貸倒引当金 | △16,401 | △16,403 |
| 流動資産合計 | 2,096,818 | 1,884,352 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 527,103 | 515,152 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 29,921 | 30,579 |
| 土地 | 1,564,579 | 1,564,579 |
| リース資産（純額） | 16,592 | 16,061 |
| その他（純額） | 1,142 | 1,047 |
| 有形固定資産合計 | 2,139,339 | 2,127,421 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 40,719 | 37,057 |
| ソフトウェア | 64,865 | 60,251 |
| その他 | 8,617 | 8,196 |
| 無形固定資産合計 | 114,202 | 105,505 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 158,893 | 121,062 |
| 敷金及び保証金 | 535,548 | 515,516 |
| その他 | 151,999 | 155,073 |
| 貸倒引当金 | △50,801 | △51,842 |
| 投資その他の資産合計 | 795,639 | 739,810 |
| 固定資産合計 | 3,049,181 | 2,972,737 |
| 資産合計 | 5,146,000 | 4,857,089 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 24,039 | 15,974 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 297,208 | 284,349 |
| リース債務 | 6,371 | 3,225 |
| 未払法人税等 | 49,067 | 13,332 |
| 契約負債 | 804,227 | 829,789 |
| 賞与引当金 | 56,279 | 43,500 |
| 資産除去債務 | 11,398 | - |
| その他 | 362,722 | 392,549 |
| 流動負債合計 | 1,611,313 | 1,582,720 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 506,471 | 437,677 |
| リース債務 | 16,417 | 18,100 |
| 繰延税金負債 | 190,477 | 193,307 |
| 役員株式給付引当金 | 18,278 | 18,278 |
| 退職給付に係る負債 | 438,121 | 432,912 |
| 関係会社事業損失引当金 | 13,997 | 14,772 |
| 資産除去債務 | 322,872 | 325,141 |
| その他 | 750 | 750 |
| 固定負債合計 | 1,507,385 | 1,440,940 |
| 負債合計 | 3,118,698 | 3,023,661 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 655,734 | 655,734 |
| 資本剰余金 | 696,020 | 696,020 |
| 利益剰余金 | 1,360,823 | 1,156,362 |
| 自己株式 | △356,123 | △356,123 |
| 株主資本合計 | 2,356,455 | 2,151,994 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 15,539 | 26,123 |
| 土地再評価差額金 | △345,435 | △345,435 |
| その他の包括利益累計額合計 | △329,895 | △319,312 |
| 非支配株主持分 | 741 | 746 |
| 純資産合計 | 2,027,301 | 1,833,428 |
| 負債純資産合計 | 5,146,000 | 4,857,089 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 1,310,777 | 1,319,497 |
| 売上原価 | 1,081,087 | 1,087,738 |
| 売上総利益 | 229,690 | 231,759 |
| 販売費及び一般管理費 | 434,881 | 389,265 |
| 営業損失(△) | △205,191 | △157,506 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 170 | 185 |
| 受取配当金 | 1,874 | 1,678 |
| 受取賃貸料 | 1,287 | 1,287 |
| その他 | 4,310 | 2,613 |
| 営業外収益合計 | 7,642 | 5,764 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,996 | 1,597 |
| 貸倒引当金繰入額 | 4,378 | - |
| その他 | 812 | - |
| 営業外費用合計 | 7,187 | 1,597 |
| 経常損失(△) | △204,735 | △153,338 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 3,914 | 2,354 |
| 関係会社事業損失引当金繰入額 | - | 775 |
| 特別損失合計 | 3,914 | 3,130 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △208,650 | △156,468 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 11,125 | 10,303 |
| 法人税等調整額 | △1,229 | △3,873 |
| 法人税等合計 | 9,895 | 6,430 |
| 四半期純損失(△) | △218,546 | △162,899 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | - | 4 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △218,546 | △162,903 |

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純損失(△) | △218,546 | △162,899 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 837 | 10,583 |
| その他の包括利益合計 | 837 | 10,583 |
| 四半期包括利益 | △217,708 | △152,315 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △217,708 | △152,319 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | 4 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。